

# SPIRAL REPORT

スパイラルレポート

2016コープしが 社会・環境報告書

# 未来の環境を考え、ともに 育てる…



スパイラルレポート2016の発行にあたって

組合員・役職員が共に  
地域社会の一員として  
地域での協同を進めていきます。



日頃より、コープしがの事業と活動を支えていただき誠にありがとうございます。

これまでコープしがは、宅配事業を中心に県下隅々まで配送ネットワークを広げて安心と信頼を築いてきました。2015年度は、2020年ビジョンにそって、店舗事業の再構築をすすめ、2月27日のコープぜぜ店のオープンに続いて、11月26日にコープもりやま店がオープンしました。両店舗とも計画を上回る利用で推移しています。オープンにあたり多大なるご支援・ご指導をいただきました。こころより感謝申し上げます。

くらしを豊かにしたいという願いを実現するために、生協の事業が生まれました。生協の事業がさらにくらしに役立つには、組合員の参加がとても大切です。そして、私たちのくらしは地域の中にあります。みんなが豊かなくらしをおくれるように、地域の様々なことに目を向け、協同していくことが大切です。

現在、滋賀県においても、少子高齢化や地域的な人口減少、一人世帯の増加が急速にすすんでいます。組合員のくらしからの声は多様で、所得の減少や子育ての困難さ、ひとり暮らしによる不安、食生活の変化、健康問題などさまざまな困りごとが増えてきました。その中で、人と人がつながる協同組合として解決出来ることがたくさんあります。17万人の組合員が、他人への配慮をもって、地域社会の一員として一歩踏み出すことが出来れば、つながり合える社会になるものと確信しています。私たちの事業と活動そのものが価値を輝かせ、協同組合としての組合員のくらしに支え続ける役割を果たしながら、地域社会への役立ちを自覚し、事業・運営をすすめます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2016年6月

生活協同組合コープしが  
代表理事 理事長 西山 実

## CONTENTS

P.3	社会への貢献活動	P.13	環境事業報告
P.5	地産地消の推進	P.17	働きがいのある職場
P.7	食の安全安心を守る	P.18	ルールに基づいた運営
P.9	組合員活動	P.19	コープしがの事業
P.11	琵琶湖を大切にす環境活動	P.22	コープしがの概要

## 東日本大震災復興支援の取り組み

2016年3月に震災から5年を迎えました。コープしがは被災地の復興のため、「震災を風化させない」「一人ひとりが寄り添う」ことを大切に、被災地生協とともに息の長い支援活動に取り組んでいます。

### ● 2015年震災を忘れないスタディツアー in 福島

被災地の現状を自らの目で見て、現地の方と交流し知り学び、そして被災地の現状やわたしたちにできることを多くの人に伝えるために、組合員から参加者を募集し実施しました。福島の子どもたちに「砂場で遊ぶ木の道具・木こて」の贈呈式を行い、ツアーの様子や参加者の感想などを「震災を忘れないニュース」として発行しました。



震災を忘れないスタディツアー in 福島

### ● 震災を忘れない交流会 in しが

震災から5年を迎えた3月に、被災地生協のみやぎ生協とコープふくしまから講師を招き学習交流会を開催しました。知ることの大切さ、地域の関わりやまとまりの大切さを学びました。



砂場で遊ぶ木こて贈呈

### ● 毎月「11日」の週に復興支援募金

震災のことを忘れないために毎月震災復興支援募金に取り組み、1,689,100円を被災地ボランティア活動支援募金として贈りました。



震災を忘れない交流会 in しが

## 地域の安全を守る取り組み

### ● 事業や活動を活かした見守り活動

コープしがでは、生協の事業や活動を通して、誰もが安心できる地域づくりに取り組んでいます。県内で10万世帯以上にご利用いただいている生協の宅配や夕食宅配では、毎週同じ担当者が地域を回り、商品や夕食弁当をお届けしています。このような事業の特性を生かし、地域の安全安心を守るため自治体との「見守り協定」の締結をすすめています。2015年度は愛荘町と協定を結び7自治体となりました。



愛荘町「地域の見守りネットワークに関する協定」調印式

### ● その他の地域を守る取り組み

「認知症サポーター養成講座」の研修を継続して行い、全職員が研修受講の証としてのオレンジリングの取得をめざしています。また、地域の安全を守るため「飛び出し注意」看板の配布（200枚）、配送トラックへの「子ども110番」の表示などを継続して行っています。



安全運転研修

## 安全運転の取り組み

コープしがの車両が人命を奪うという重大な事故を過去に起こしました。このようなことを二度と起こさないために、毎朝「安全運転の誓い」を全員で唱和するとともに、添乗による相互確認などで安全運転に取り組んでいます。配送車両や営業車にはバックモニターやドライブレコーダーの設置を行っています。

また、地域の交通安全に寄与するために、安全運転強化月間に合わせて「チャレンジ50」として、道路の清掃、通学の見守り、出勤時の立哨などの取り組みを行いました。

### ● 事故発生件数

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
件数	56	50	35	49	48

## 各地の災害への対応

日本国内や世界各地では甚大な自然災害や地震災害が発生しています。2015年に発生した災害の被災者を支援するため以下のように募金に取り組みました。

「ネパール地震緊急募金」：3,826,472円

「関東・東北豪雨災害義援金」：災害支援基金から100万円、組合員募金3,359,536円

「台風21号・沖縄県与那国町義援金」：災害支援基金から50万円

## 子どもたちの未来のために、国際貢献の取り組み

### ● 書き損じハガキ回収キャンペーン

ハンガー・フリー・ワールド（NGO）が取り組む「書き損じハガキ回収キャンペーン」に参加し、3,271,352円分の有価物が寄せられました。このお金はNGOが支援する4カ国の栄養改善、識字率の向上などに生かされます。



ハンガーフリーワールド年次報告書

### ● ユニセフ募金

ユニセフお年玉募金などで寄せられた募金は、ミャンマーの女性と子どもたちの支援に活用される指定募金に100万円、一般募金として2,439,427円をユニセフに贈りました。



ユニセフ感謝状

## 県内農業の発展に向けて

滋賀県は稲作を中心とした農産物の生産県で、食料自給率（カロリーベース）は約50%です。コープしがは農産物の持続可能な安定供給をめざして、地産地消・産直提携の強化を進めています。

### ● ファーマーチャレンジ隊の取り組み

県内JAと共同で地元農家が元気になるような取り組みとして「ファーマーチャレンジ隊」に取り組んでいます。

- ① 農作業を通じて食の大切さを学ぶ
- ② 地域農業の現状を知り、地産地消を広げる。
- ③ 農業体験を積み重ね、地域農業のサポートや新規就農者の発掘につなげる。

2015年度はJAおうみ富士とJAこうかとともに、じゃがいも、かぼちゃ、さつまいもなどの植付、除草、収穫などの体験を行い延べ632人の参加がありました。



ファーマーチャレンジ隊

### ● 地場産提携に関する協同組合間協定の締結

コープしがとJAこうかはJAおうみ富士に続き、2015年12月に「地場産提携に関する協同組合間協定の協定」を締結しました。滋賀県の農産物及びその加工品など地場産品の開発・普及に関して協同組合間協同の取り組みを一層すすめて、地産地消と食育・環境保全や地域振興に貢献していくことを確認しました。



地場産提携に関する協定調印式

### ● 田植え、稲刈り体験

食について学び体験し健康に生きる力を育む「コープしがが大切にしている食育」その一環として県内産産直米産地の4つのJAの田んぼで田植え体験と、稲刈り体験を行いました。お米や食べ物を大切にしている気持ちが育まれました。



田植え体験



稲刈り体験

### ● 飼料米利活用の取り組み

家畜のエサも地産地消として飼料米の利活用に取り組み、循環型農業・環境保全をすすめています。2015年度産飼料米323トン（前年度319トン）を、「産直こめ育ちさくらたまご」の親鳥のエサに15%配合（粉換算）し、飼料米で育った卵づくりで地元農業を応援しています。



水田利活用看板



産直こめ育ちさくらたまご

## 商品や農業について知り、考える活動

### ● 産直生産者、メーカーとの交流の取り組み

コープしがは産直により生産者・消費者がともに生産と消費の知識と理解を深め、暮らしに欠かせないたべものの安全安心、よりよい品質、適正価格、安定供給をめざしています。組合員の産地見学会、商品大交流会（2回開催）、コープ知ってね試食学習会（99会場）などを開催し、生産者と消費者（組合員）の交流を進めました。



鳥取県生産者交流会（大山キャンプ）

### ● 産直・地場商品の推進



ぱくぱくエコー「産地直結」コーナー

商品案内書「ぱくぱくエコー」での産直商品や県内商品を積極的に取扱い、店舗でも産直野菜コーナーを設けるなど、地産地消の推進に取り組みました。



秋の商品大交流会

### ● 2015年度産直商品の実績（宅配事業）

項目	2013年度	2014年度	2015年度
産直生産者数	63	63	65
延べ企画回数	4,539	4,097	4,091
供給高（千円）	1,890,998	1,800,697	1,837,847

### ● 組合員の商品活動

2015年度は、組合員が参加する「商品開発検討委員会」「産直・商品普及委員会」を設置し、県内産原料を使用した商品開発などの検討をすすめました。また、産直生産者とのオリジナルクリスマスケーキづくり、オリジナルおせちづくり、エリアでの産直交流企画の実施などを行いました。



産直交流企画



知ってねコープ試食学習会



オリジナルクリスマスケーキ



オリジナルおせち

## 食の安心をめざした、食品安全・品質保証の取り組み

コープしがでは、食品の安全を保証するため、原材料から製造工場・店舗、組合員への配達の各段階で、商品のチェックを何重にも行っています。



商品仕様書の点検 (パソコン画面)



工場点検



微生物検査



残留農薬検査

### ● 安全な商品をお届けするために

#### 『商品仕様書の点検』

「商品仕様書」とは、商品がどのようにして製造されるかのカルテの役割を果たしています。商品一つひとつについて、原材料や製造工程、包材表示など詳細に記入されています。新しい商品を取り扱う前には法律に合っているかやコープしがの取り扱い基準を満たしているかを念入りに確認しています。

#### 『取引先の点検』

加工食品を製造する工場は、衛生面や安全面で厳しい管理が求められます。取引先の食品工場に出向き、工場従業員の身支度や製造環境、加熱・冷却温度等の確認を行っています。農・畜産産地も訪問し、栽培・飼育環境や管理状況の確認を行っています。取引先や産地と問題点を確認し、実現可能な範囲で改善を協力して進めています。

2015年度工場・産地点検数

取引先	点検数
水産・畜産加工メーカー	20
日配・牛乳メーカー	21
パン・菓子メーカー	10
一般食品メーカー	15
産直農産産地・農家	36
産直畜産農家	15
合計	117



#### 『商品検査』

品質と安全性の確認・検証を科学的・客観的に把握する目的で検査を行っています。微生物検査や農薬検査、放射性物質検査などを商品の仕様・特性に応じて実施しています。検査結果に問題があった場合は、調査・是正を要請し、商品の改善に役立てています。

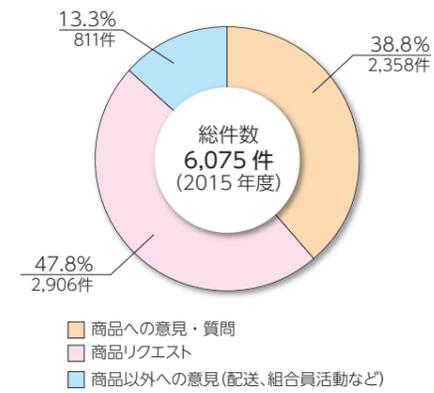
2015年度商品検査件数

検査項目	件数	件数	
		コープしが	きんき
微生物検査	水産、畜産、日配など	685	16,167
食品添加物検査		-	939
農薬検査	産直野菜・果物、冷凍野菜(輸入含む)	114	923
放射性物質検査	17都県農産物、水産加工品など	-	286
動物用医薬品検査	産直牛・豚・鶏・鶏卵・牛乳	15	-
アレルギー検査、遺伝子組換え検査など	冷凍食品、菓子、原料大豆など	13	60

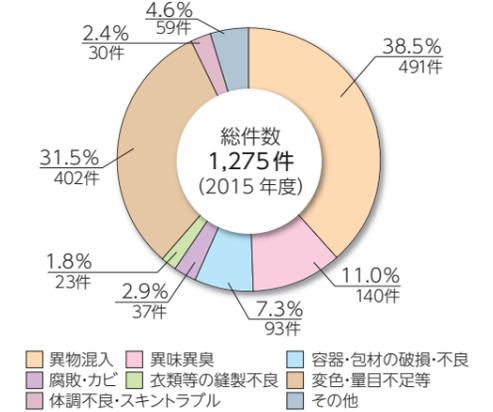
### ● 「組合員の声」 および 「商品お申し出」 について

お届けした商品についてのご意見や苦情は、品質の不具合を改善し、よりよい商品の提供へつなげていきます。

〈私もひとことカード〉に寄せられた組合員の声



〈商品相談連絡書〉でのお申し出(商品苦情)



#### 組合員の声を受けて商品改善事例

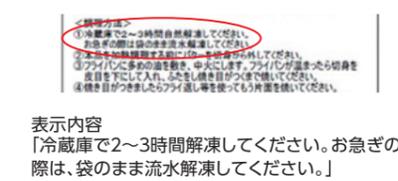
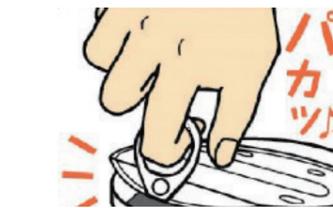
##### CO-OP 大豆ドライパック



##### 真だら味噌バター

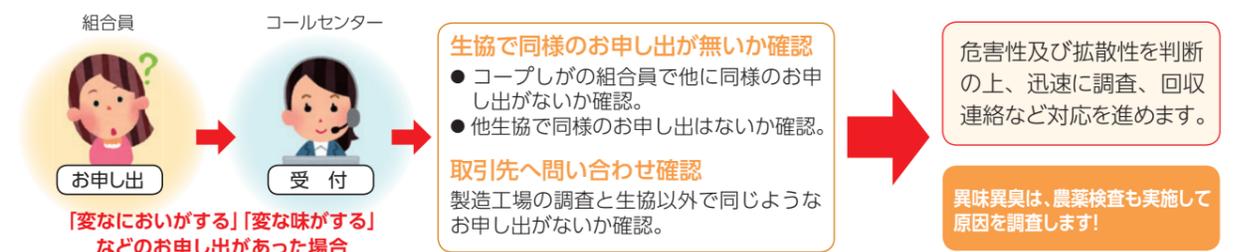


##### 鶏ミンチ



### ● 予兆監視及び商品事故管理体制

組合員コールセンター等に寄せられる声や、他生協の事例などから、同様の申し出がないか監視して、商品事故の拡大防止や迅速な回収などを行なう体制をとっています。



## 組合員の関心やニーズによる様々な組合員活動

生協の組合員は、自分の関心やニーズに合わせ、なかまとともに様々な話し合いの場、学びの場への参加が広がっています。

### ● 食・商品に関する活動

2015年度方針の重点テーマ「食」を事業と活動のまん中において「ラブコップキャンペーン」にみんなで取り組みました。地域委員会は毎月の話し合いの中から、商品試食学習会や産地見学への参加を進めました。組合員の想いを大切に、組合員と生産者の交流企画を各エリアで開催しました。



おすすめ商品試食会



淡路島酪農産地見学



石井食品工場見学

### ● たべる\*たいせつ食育活動



たべる\*たいせつ親子クラブ  
朝ごはんをしっかり食べよう  
料理教室



たべる\*たいせつ親子クラブ  
牛の肥育とお肉の種類を知ろう

コープしがの大切する食育の活動では、「家庭での食育を大切にします」の実践として、「たべる\*たいせつ 親子クラブ」を実施しました。「地産地消 しがベジを食べよう」、「見分ける眼を養おう! 食育体験隊」など6つのテーマで工夫して取り組みを進めました。参加者からは、「子どもと楽しく学べた」、「とっても良い企画だった」など声が寄せられました。

### ● ぱくぱくパーティ

「ぱくぱくパーティ」は、生協が無料でお届けする商品をご近所、友達、職場、家族などで試食しながら、気楽におしゃべりしてもらおう取り組みです。「ぱくぱくパーティ」をきっかけに人と人とのつながり広がることや、おしゃべりの内容を「メモ」で出してもらい、運営の改善や方針づくりにつないでいきます。



2015年度つどい型ぱくぱくパーティ

### ● チーム活動・ひろば活動



いき百サロン虹 クリスマス飾りを作りました。

チーム活動は、組合員が、地域の中の様々な人たちと一緒に、自由で柔軟な発想に立ち、取り組むことのできる活動として、多様な活動が実施されました。

ひろば活動は、「商品」「環境」「福祉」「平和」「子育て」「消費者力」などくらしのテーマに沿った自主自発の活動として、



湖魚応援隊 湖魚料理教室  
おいしそうなお料理ができました。

取り組む組合員層やテーマも広がりました。

### ● 平和を願う取り組み

2015年度は被爆・終戦70年の年として様々な活動に取り組みました。

2015年、5年に1回ニューヨークで開催されるNPT再検討会議にコープしがからも代表派遣を行い、核兵器廃絶を要請する署名を届け、要請活動に参加しました。

夏休みには子どもたちと共に学ぶ『県内戦争遺跡めぐり』や『ピースアクションinヒロシマ』に組合員が参加しました。県内の戦争体験や、原爆被爆の実相などを知ることで「平和であることのありがたさを感じた」、「原爆の怖さが分かった」などの声が寄せられました。

また各地区では『平和を考えるつどい』を開催し、戦争体験者から話を聞いたり、戦時食の試食、NPT代表派遣者からの報告など平和の大切さを再確認する機会となりました。



ピースアクションinヒロシマ



平和の集い ピースカフェ



県内戦争遺跡めぐり 掩体壕(えんたいごう)



NPT再検討会議代表派遣

## 「琵琶湖を大切にしているところ」を育む

コープしがは「びわ湖を大切にしているところ」を育むため、毎年9月の第1土曜日を「コープしがびわ湖の日」として「湖岸清掃ウォーク」をはじめとした活動を行っています。また、琵琶湖の水源を守るコープの森として森林整備を行うなど、事業と活動の両面で「環境」の取り組みを進めています。

### ● 「コープしがびわ湖の日」の取り組み

毎年9月第1土曜日を「コープしがびわ湖の日」として様々な環境活動に取り組んでいます。

#### 『びわ湖清掃ウォーク』

琵琶湖岸の清掃活動を県民に参加を呼び掛けて毎年実施しています。2015年度は319名が参加し彦根市松原水泳場の清掃活動を行いました。



#### 『各地区での環境活動』

各地区ではコープしがびわ湖の日に合わせて、琵琶湖の環境を考える取り組みが行われました。また自然エネルギーに関する体験学習など、環境の活動にのべ721名の組合員やその家族が参加しました。

#### 瀬田しじみ漁体験



しじみ漁体験し、漁協・水産試験場の方から琵琶湖の現状などを学習しました。「瀬田しじみ汁」「瀬田しじみの炒め物」の試食もしました。

#### 地引き網体験



近江八幡市宮ヶ浜で清掃活動と、地引き網による琵琶湖のお魚調査をしました。ブラックバスやブルーギルがほとんどで在来種が減っていることを再認識しました。

#### 地球にやさしい ラーメン作り



大津市企業局や大阪ガスの協力で、ラーメン作りに必要なエネルギーについて学習しました。普段のラーメン作りは無駄なエネルギーを使っていることを知る機会になりました。

#### 自然エネルギー 学習会



コープの森あぶらひを会場に、原始の火起こし器を使った火起こし体験を通して自然エネルギーについて学びました。

### ● コープの森の取り組み

琵琶湖の水源の森を守るため、長浜市の「コープの森余呉」と甲賀市の「コープの森あぶらひ」の2か所と琵琶湖森林づくりパートナーシップ協定を結び、森林整備の費用を負担しています。職員のボランティア活動で、コープの森余呉では森林整備のための整備道づくり、コープの森あぶらひでは間伐の支援を行いました。また組合員の学習会なども行われています。



コープの森余呉・整備道づくり



コープの森あぶらひ・間伐支援

### ● 研究機関や漁協などとの連携

琵琶湖環境科学研究センターの協力で、琵琶湖調査船「びわかぜ」に乗船し水質調査などを体験し、意見交換会（サイエンスカフェ）に参加しました。

また、この意見交換会をきっかけに、琵琶湖環境科学研究センターや滋賀県漁連、関係団体の協力を得て「ビワマスの放流と食文化（アミノイご飯）の学習会」を開催しました。



「びわかぜ」での水質調査



ビワマス放流

### ● 「マザーレイク滋賀応援基金」への寄付

琵琶湖の環境保全に役立ててもらうため、CO・OP洗剤や産直米の利用に合わせた金額を「マザーレイク滋賀応援基金」に寄付する取り組みを継続しています。水環境にやさしいCO・OP洗剤や、環境こだわり農産物の滋賀県産産直米（登録）の利用を伸ばすことで、環境に配慮した商品の普及と寄付の両面で環境保全に取り組んでいます。

#### ● 2015年度寄付金額

商品	利用量	寄付金額
産直米登録利用	364,677kg	364,677円
CO・OP洗剤	57,961点	57,961円
合計		422,638円

## 2015年度環境事業報告

コープしがは「2020年に向けた新たな環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全の課題を次の4つのテーマで取り組みを進めています。

- ◇ 組合員活動としての環境保全
- ◇ 産直や地産地消などの環境配慮商品の強化
- ◇ 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の総量削減
- ◇ 廃棄物の更なる削減と事業化

環境マネジメントプログラムにより、年間目標を定め進捗管理を行っています。

### ● エネルギーの効率的な使用と温室効果ガスの削減

#### 『エネルギーの効率的な使用』

電気使用量は継続的に削減を進めてきましたが、2015年2月のコープぜげ店リニューアルオープン、2015年11月のコープもりやま店新設オープンにより、前年より35%増加しました。環境マネジメントプログラム（以下、EMP）では、店舗は実績把握を行うこととし、既存施設で3%削減を目標としましたが、1.4%の削減にとどまりました。

配送車両等の燃料からの温室効果ガスの削減を図るため、軽油にBDF燃料を5%配合したBDF5の使用を増やしています。

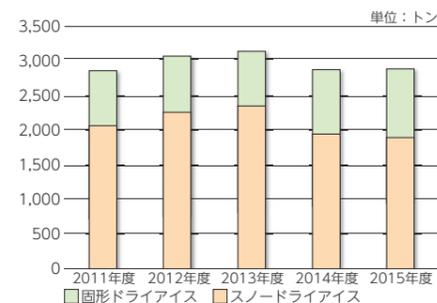
※BDFは廃食油を原料としたディーゼルエンジン用の燃料で、温室効果ガス削減に貢献する。

#### 『温室効果ガスの削減』

温室効果ガスは、コープしがだけでなく関連する子会社、物流センター、委託配達も含めて管理することとしています。環境政策では2005年対比で2020年には20%削減することを目指しています。2014年度では13.5%削減でしたが、2015年度は6%削減に後退しました。（電気のCO<sub>2</sub>排出係数は、2005年度時点の数値を2020年まで使用）

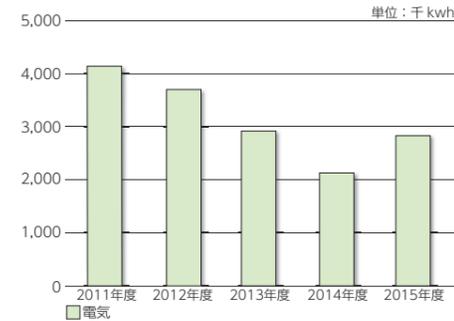
温室効果ガスの排出量に含めませんが、ドライアイス使用量の管理を行っています。

#### ●ドライアイス使用量推移



※二酸化炭素からドライアイス生成時の数値に不明確なところがあり、過去の実績も含め修正しています。

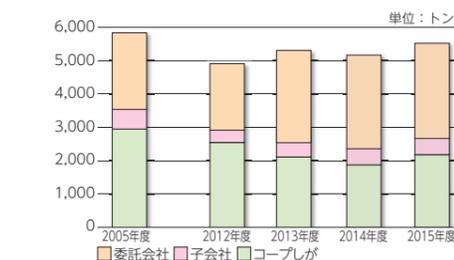
#### ●電気使用量推移



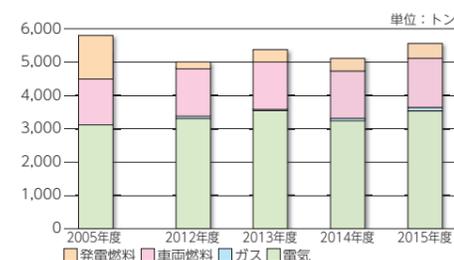
#### ●車両燃料使用量推移



#### ●温室効果ガス排出量推移①(組織別)



#### ●温室効果ガス排出量推移②(発生源別)



### 『再生可能エネルギーの活用』

コープしがの太陽光発電容量は、自家消費型と全量買取型(FIT)あわせて、総発電容量は516kwです。全量買取による売電量は、2014年に設置した東近江センターの設備が通年稼働したことから前年度より23%増えました。売電額は1,683万円となっています。

### ● 廃棄物の削減とリサイクル

#### 『廃棄物の削減』

コープしがでは、一般廃棄物は食品廃棄物とそれ以外に分別し、食品廃棄物は飼料に再生しています。産業廃棄物は大半が廃プラスチック類で、減容加工することで有価物となるものは分別して再生原料として販売します。分別できない残りは処理業者でRPF(固形燃料)に加工し有効利用されます。それ以外に分別した廃棄物は、当該行政の焼却場で焼却処分しています。

#### 『食品リサイクルと容器包装リサイクル』

〈食品廃棄物〉

2015年度は、コープぜげ店の通年稼働と、コープもりやま店が開店した関係から、排出量は大きく増えました。ただし、再生率は99.8%となり前年より0.3%改善しました。売上百万円あたりの排出量については、54.5kgと努力目標(65.6kg)以下の抑えることができました。

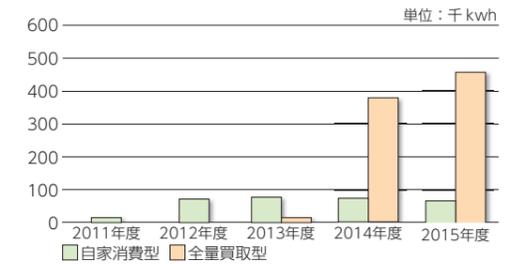


コープぜげ店

#### 『容器包装リサイクル』

商品販売等で使用する容器・包装類は回収して再資源化するための費用を企業が負担することになっています。店舗の食品トレーや宅配の商品仕分け袋、青果の袋、コープしがブランド商品の容器包装等が対象となり、その使用量に応じたリサイクル費用を負担しています。2015年度は店舗のオープンにより使用量とリサイクル費用が増加しました。なお、使用した企業が自前で回収した分は、使用量からマイナスすることができます。

#### ●太陽光発電・発電量推移



#### ●廃棄物排出量推移



#### ●食品廃棄物・再生率



#### ●容器包装リサイクル



『リサイクル活動』

コープしがが商品の供給に伴い組合員に届けた容器・包装や商品案内書などは、回収して再資源化を行っています。回収の対象は宅配事業が商品案内書、牛乳パック、卵パック、商品仕分け袋です。店舗は牛乳パック、食品トレー、ペットボトルです。

2015年度EMSでは前年比3%増に対して5.5%増で目標を達成しました。回収量の多い商品案内書は、配布量の増加に伴い回収量も増えていますが、配布に対する回収率は低下傾向です。



コープもりやま店のリサイクルコーナー



回収された商品案内書

『リサイクル事業』

組合員から回収したリサイクル品や、物流センターで出るストレッチフィルム、PPバンド、ダンボールなどは、アズコム物流センター内の「リサイクルセンター」に集め、分別や減容（圧縮）処理をして、再生原料として販売するリサイクル事業を行っています。最もウェイトの高いチラシ類の販売量が増えたことから、販売総額は4,477万円（前年比4.5%増）となりました。リサイクルセンターの作業量が増えたことから、2015年度から障がい者の雇用を1名増やしました。

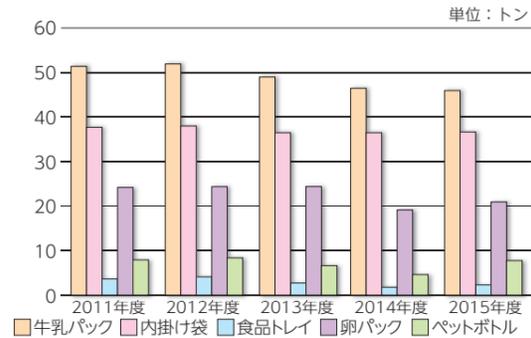


発泡スチロールの減容作業



減容された仕分け袋

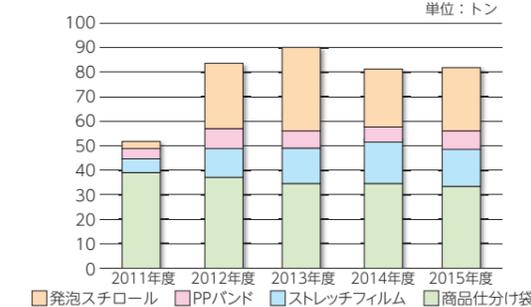
●リサイクル品回収実績推移



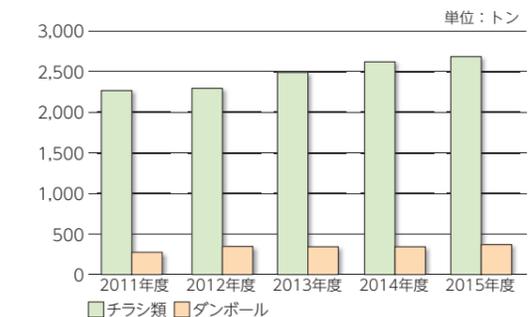
●商品案内書等回収量と回収率推移



●廃プラスチック有価物販売量推移



●古紙販売量推移



●コープしがの事業所での環境活動

『グリーン購入』

グリーン購入対象商品を優先的に購入する活動は、事務用紙と事務用品に区分して管理しています。事務用紙は、グリーン購入対象紙の使用が定着し、購入率は99.3%（重量比）になっています。事務用品の購入率は52.1%（点数比）でした。

『事業所とその周辺の景観を維持する活動』

全事業所で、四半期に1回以上の取組みをすすめることとし、第3四半期（10月～12月）は全事業所で実施できましたが、年間では80%の実施となりました。



本部周辺の美化活動

●環境に配慮した商品の取り扱い

『県内商品の取り扱い』

宅配事業では「商品案内書・ぱくぱくエコ」で県内産商品の取り扱いを強化しています。2015年度EMPでは企画数5%増の目標に対し18%増（2,701企画）と大幅に増やすことができました。

店舗では、県内産農産物（米を除く）の仕入れ額を2倍にする目標に対し、前年比386%の3,097万円となりました。

●宅配事業の県内商品企画数推移



『商品案内書エコ、くらしのパートナー』

コープきんきとの共同企画でも環境配慮商品の取り扱いが増えました。

●環境配慮商品の実績（年間利用点数）

区分	2014年度	2015年度	前年比 (%)
MSC	99,990	101,853	101.8
フェアトレード	1,151	2,217	192.6
特別栽培	286,611	299,052	104.3
有機栽培	135,735	126,932	93.5
飼料米を使用	84,440	124,420	147.3
エコマーク	186,458	198,873	106.6

※MSC: このマークはいつまでも魚を食べ続けることができるように、海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物（シーフード）に与えられる認証エコラベルです。

資料



このプランターは、エコプランターです。

これは、ペットボトルのキャップを再生して製造したプランターです。原材料の70%以上は、ペットボトルのキャップ等の再生PPが使われています。

※PP=ポリプロピレン

コープしがで回収したペットボトルキャップは、共同作業所で分別・洗浄し、甲賀市にあるこのプランターの製造会社に原料として販売されています。その収益は、共同作業所の運営資金の一部になっています。

コープしがでは、このプランターに共同作業で花を植えてもらう「Hana-waプロジェクト」に参加し、本部とコープぜぜ店に置いています。



■宅配事業

## 安全・安心な商品を便利にお届け

宅配事業は県内9カ所の宅配事業センターから、毎週約13万世帯に安全安心な商品をお届けしています。

宅配事業は、組合員から注文いただいた商品を毎週決まった曜日、時刻、指定された場所にお届けします。豊富な商品を掲載したカタログから、注文用紙、電話、ファクシミリ、インターネットのいずれでも注文できます。商品の受け取りは共同購入、個配、ステーションから選べます。組合員担当は、コミュニケーションを大切に安心してご利用いただけるように努めています。

宅配事業はいろいろなサービスで暮らしをサポートします。

赤ちゃんサポート	満1歳までの赤ちゃんをお持ちのお母さんをサポートします。3,338人がご利用。
ぬくもり割引	高齢者、3歳未満の子育て中の方、障がい者の方やそのご家族の個配手数料を割引します。30,743人がご利用。
わくわく便	離れて暮らすお子さんに生協商品を宅配便で届けます。2,731人が登録。
個配メールサービス	商品お届け状況を離れて暮らすご家族にメールで連絡します。



宅配の配達

商品案内書エコー

■共済事業

## 組合員の暮らしに役立つ保障\* 「顧客満足度3年連続 No.1」

手ごろな掛け金でありながら、しっかりと組合員の家族みんなの保障の中心になりたい。CO・OP共済は組合員の声で保障内容がだんだんと充実していきます。

お誕生日には「おかわりございませんか」「ご請求忘れはありませんか」の手紙を届け、請求忘れゼロを目指しています。

年度	たすけあい	あいびらす	ずっとあい	合計
2013年度	75,140	15,500	2,645	93,285
2014年度	74,479	16,331	3,219	94,029
2015年度	74,309	17,152	3,954	95,415

年度	件数	支払金額
2013年度	15,273	552,042
2014年度	15,575	582,880
2015年度	15,106	518,707

年度	件数	支払金額
2013年度	1,154	137,633
2014年度	1,273	175,405
2015年度	1,359	186,396

年度	件数	支払金額
2013年度	231	13,286
2014年度	320	19,549
2015年度	407	28,732

\* 2015年度 JCSI (日本版顧客満足度指数) 調査結果 生命保険部門



資料

### 共済「ありがとう」の声

他の保険に入りにくい時、特に医療で必要になった時の為に入れる保険を探して加入しました。今回、実際、入院請求させていただき、しっかり入院費用をカバーしていただき助かりました。また、診断書もコピーでOKと。考えていただいていると思います。

請求お忘れありませんか? のチラシを見て電話させて頂きました。電話の対応もわかりやすく手続きもとても簡単でした。ありがとうございました。

■店舗事業

## 新鮮な商品と品揃えの良さにこだわります



もりやま店外観

新しい食べ方、おいしい食べ方の提案、商品・売場のこだわりを伝えていきます。また、普段の商品、お買い得品、こだわりの品の品ぞろえを充実させ、選ぶ楽しさを広げます。

2015年2月のコープぜぜ店リニューアルオープンに続き、11月にはコープもりやま店がオープンしました。「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」があふれるお店をコンセプトに、新鮮な商品と品揃えの良さにこだわります。

コープのお店は、ご利用いただく組合員の皆さんに豊かで新しい食生活を提案します。



もりやま店地場野菜コーナー

### ● 守山市と「災害時における協定」を締結

コープもりやま店オープンを機に、「災害時における協定」を結び、大規模な災害が発生した時に守山市民の安全確保と生活の安定に寄与します。



守山市と「災害時の協定」調印式

■福祉事業

## よりよい暮らしをともにつくる福祉をめざして

コープしがは福祉を「一人ひとりの人が社会的なつながりの中で、よりよい暮らしをともにつくること」と広くとらえ、組合員、地域の方々とともに「暮らしを創造する福祉」をめざしています。

### ● 介護保険事業

高齢者を支えるケアサービスとして「ケアサポートセンター ぼこ」では、デイサービス、訪問介護、ケアプラン作成の3事業に取り組んでいます。2016年4月には第2事業所「ケアサポートセンター ぼこ野洲」で訪問介護を開始しました。

ぼこのケアは「食生活」「生活リハビリ」を大事にしています。特にぼこのデイサービスは厨房を設け生協の食材を使った温かい食事を提供しています。訪問介護はその人らしい暮らしを護る介護をめざして、愛情のこもった言葉、優しさを感じる表情で、誇りを持って対応しています。



ぼこの食事

### ● ささえあいサポート

組合員同士がお互い様の気持ちで暮らしを支えあう「ささえあいサポート制度」は10周年を迎えます。2015年度は3,928件、5,742時間のサポートがありました。

サポートの内容	件数
家事援助(食事作りなど)	1,240
掃除・片付け・部屋の模様替え	913
子どもの見守り・託児	580
高齢者などの身の回りの世話	285
草取り・水やり・庭木の剪定	279
その他	631

■夕食サポート事業

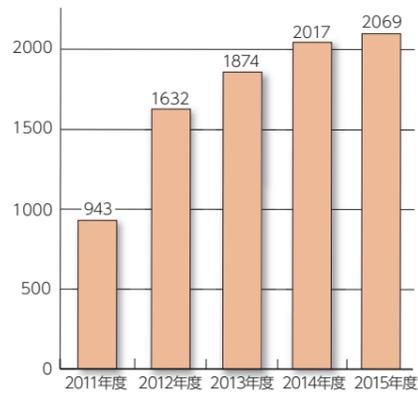
“夕食サポート・つながり”で信頼と安心をお届けします

夕食サポート・つながりは、高齢者、一人暮らし、共働き、育児などで毎日の夕食作りに困っておられる方に、栄養バランスを考えた夕食弁当をお届けし、健康な食生活を応援します。

夕食サポート弁当は



●1日の配食数推移(3月度平均)



店舗

■サービス事業

くらしを便利に、快適にするサービス事業

安心できる商品を提供したり、事業者の紹介を行って、くらしの便利や快適を広げていきます。次のような商品・サービスを提供しています。

- チケット
- イトマンスイミングスクール
- 自動車教習所
- 車検
- ピアノ調律・修理、買取
- ハウジング
- ふとん打ち直し・丸洗い
- 不要品の買取
- ハウスクリーニング
- レンタルモップ
- 浄水器
- お得な提携店(洋服の青山、紳士服はるやま、眼鏡市場)
- 学習教材
- 年賀状印刷



こんな特徴があります。

ハウジング

ハウジング事業は、提携業者と共同して、エネルギーの節減につながる太陽光発電、遮熱効果で節電・省エネ対策効果のある屋根・外壁塗料、節水型トイレ・バス等の提案を行っています。

ふとん打ち直し・丸洗い

古くなった布団を新品のように生まれ変わらせる「ふとんの打ち直し」や「丸洗い」をお勧めしています。資源の有効活用につながっています。

不要品の買取

提携業者と共同して、CD、服、ブランド商品など不用になったものを買取り、必要な方に販売する取り組みを行っています。提携業者は、以前からフィリピンの子どもたちに洋服の寄付をするチャリティー活動もしています。

コープしがの概要

(2016年3月20日現在)

- 名称 生活協同組合コープしが
- 設立 1993年3月21日  
滋賀県内4生協が合併して発足。  
(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)
- 本部 滋賀県野洲市富波甲972番地  
TEL 077-586-1112 (代表)
- 理事長 西山 実
- 専務理事 白石 一夫
- 組合員数 17万0,457人
- 加入率 30.5% (滋賀県558,066世帯)
- 出資金 106億3,512万円
- 供給高 293億3,125万円  
(内訳) 宅配事業 268億6,685万円  
店舗事業 21億8,062万円  
夕食宅配 2億8,377万円
- 職員数 正規職員 272人  
嘱託職員 20人  
定時職員 624人 (正規換算329.5人)  
※定時職員に準職員、アルバイト含む



コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設

本部	野洲市富波甲 972
青果産直センター	栗東市荒張 1420-1
福祉ネットワーク	大津市真野 5-33-25
センターゆめふうせん	
草津事務所	草津市西草津 2丁目 1-1
ケアサポートセンターぽこ	大津市柳川 2丁目 11-25
ケアサポートセンターぽこ野洲	野洲市富波甲963-1

宅配事業センター

南草津センター	草津市笠山 5丁目 3-50
北大津センター	大津市真野 5-33-25
草津センター	草津市上寺町カスリ 281-1
中央大津センター	大津市国分 2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町寺原 303-6
東近江センター	東近江市五個荘清水鼻町 153-6
長浜センター	長浜市西上坂町 1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町 224-1
高島センター	高島市新旭町新庄 799

店舗

コープぜぜ店	大津市電が丘 1-1
コープもりやま店	守山市勝部 3丁目 15-30

子会社・グループ会社

株式会社タクス	野洲市富波甲 977
株式会社コープシステムサービス	栗東市荒張 1420-1
株式会社シガフードプロダクツ	甲賀市甲南町寺庄 330
株式会社滋賀有機ネットワーク	栗東市荒張 1420-1

コープしがのグループ会社

株式会社タクス	組合員のくらし全般をサポートするために、生協では扱えない事業分野を担っています(損害保険・生命保険、旅行、宅地建物取引など)。
株式会社コープシステムサービス	物流に関する専門的なノウハウにより、適切な物流管理を担っています(倉庫・保管庫の管理、物流センター管理運営、物流資材の調達など)
株式会社シガフードプロダクツ	精肉の生産、流通及び加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給する(牛豚肉のパック加工、畜産加工品の販売など)
株式会社滋賀有機ネットワーク	県内での産直農産物の産地づくり推進と、農産物の流通を担う(穀類・野菜類・果物類の生産と加工。農作業及び農業経営の受託など)



生活協同組合コープしが

<http://www.pak2.com/>



- 用紙: 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO<sub>2</sub>をカーボンオフセット済
- CO<sub>2</sub>排出量: 310.2g/部